

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ —その39—

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 平成23年度農業経営動向分析 分析結果について

このたび、公庫資金ご利用先の平成23年決算書内容の集計・分析結果を取りまとめましたので、ご紹介いたします。ご自身の経営実績との比較・検討などにご活用ください。

1. 酪農業界動向

H23年の生乳生産量は、H22年夏の猛暑による繁殖への影響や、東北・関東地域において、震災の影響を受けて生乳廃棄が発生したこと等により、北海道ではほぼ前年並みだった一方、都府県ではやや減少した。H23年の総合乳価は、ほぼ前年並みで推移した。

原発事故により牧草等の放射性物質含有量が高まった地域では、放牧や自給飼料を中止し、購入飼料に切り替える動きが発生した。

H23年の初生牛価格は、牛肉需要の減退により、乳用種が前年比で約1割、交雑種が前年比で約2割下落した。

2. 酪農部門決算分析

H23年の成牛頭数は、北海道の個人経営、法人経営を中心にやや増加した。

H23年の単収は、北海道では個人経営でやや増加した一方、法人経営ではやや減少した。一方、都府県では個人、法人ともほぼ前年並みとなった。単価については、ほぼ前年並みとなった。

H23年の収支実績は、北海道の法人で増収増益となった以外は、飼料コスト等の増加により増収減益となった。

<単位:百万円>

		個人						法人					
		北海道			都府県			北海道			都府県		
		H22	H23	(前年比)	H22	H23	(前年比)	H22	H23	(前年比)	H22	H23	(前年比)
経営規模等	成牛頭数(頭)	90.2	93.9	4.1%	60.9	62.2	2.1%	301.6	308.8	2.4%	148.1	148.7	0.4%
	単収(kg/頭、経産牛)	8,531	8,801	3.2%	8,750	8,798	0.6%	9,404	9,086	-3.4%	9,033	9,091	0.6%
	単価(円/kg)	79.6	80.5	1.1%	103.8	104.0	0.2%	78.2	79.6	1.8%	106.1	105.6	-0.5%
収支実績	売上高	67.1	68.7	2.3%	61.1	61.8	1.2%	259.1	262.5	1.3%	145.5	148.3	2.0%
	利益	14.8	14.3	-3.5%	6.8	6.1	-10.2%	6.3	7.8	24.1%	7.2	5.9	-17.7%
	償却前利益	15.5	15.1	-2.8%	15.9	15.3	-3.4%	44.1	47.1	6.8%	27.2	26.0	-4.3%

- (注) 1. H22年の単収・単価は「平成22年農業経営動向分析結果」より引用した
 2. 利益=[個人]農家所得(専従者給与控除前)、[法人]経常利益
 3. 償却前利益=[個人]農家所得(専従者給与控除前)+減価償却費、[法人]経常利益+減価償却費

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
 ⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階
 TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(毎月第1、第3水曜日、11月は7日と21日) 場所:三次農業協同組合本店
 庄原相談窓口(毎月第1、第3木曜日、11月は8日と22日) 場所:庄原農業協同組合本店
 福山相談窓口(毎月第2金曜日、11月は9日) 場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。

検定成績表でみる「分娩予定日」

1. 分娩予定日の重要性

妊娠判定された場合に、検定成績表に分娩予定日が表示されます。牛群検定の活用にとっても最も基本的かつ重要な情報が分娩予定日です。分娩予定日により、当該牛の乾乳予定は決定しますし、ボディコンディションの調整、分娩前の繊細な飼養管理、乳房炎治療の休業期間など、分娩予定日が正しくなければ何も始まりません。

2. 分娩予定日の表示

牛群検定で採用している妊娠判定は次の2通りあり、検定成績表では表示を区別しています。

検 定 牛				管 理 ・ 繁 殖 の 状 況												
牛 コード	名 号	個体識別番号 (※は無登録牛) 品種	父 牛 号	分 娩 年 月 日	産 次	分 娩 時 年 齢 (月)	乾 乳 日 数	分 娩 間 隔 (日)	空 胎 日 数	JMR バ ン ナ ン (日)	授 精 月 日	授 精 回 数	授 精 雄 牛	E T	分 娩 予 定 日	次 産 分 娩 間 隔 (日)
0271	デンオン 9042	*333319042	H	221231	5	8-1	76	*777	185	170	07.04	2	JP5H53562			
0272	デンオン 9158	*333319158	H	221205	6	7-9	49	389	257	196	長期未授精					
0275	デンオン	*333319066	H	221002	6	7-9	49	411	81		12.22	2	80H317		09.27	360
0281	デンオン	*333362189	H	220824	8	11-10	69	341	247		04.28	5	PK619		02.01	*526
0288	デンオン	*333398386	H	221101	5	6-10	47	*434	61		01.01	1	JP5H52850		10.07	240

黒毛和種F1の場合は、分娩予定に2~3日加算してください

獣医師の妊娠鑑定を受けている場合は、検定立会時に報告してください。

細字: NR法による判定(妊娠報告していない)

太字: 妊娠報告している

妊娠していない

① NR法(ノンリターン)

授精を報告して、70日以上次の授精や発情が報告されない場合、妊娠と判定します。この場合は、分娩予定日を細字で表示します。

② 妊娠鑑定報告

獣医師により妊娠を鑑定した場合その旨を牛群検定で報告できます。この場合は、分娩予定日を太字で表示します。以前の牛群検定では、妊娠判定はNR法のみとしていましたが、現在はこのように表示法を区別しています。妊娠鑑定報告の有無を検定成績表で区別し、細字の分娩予定日は早急に妊娠を確認するという使い分けができるようになったわけです。細字の分娩予定日は、妊娠を確認すると覚えていただければ良いでしょう。

ただし、繁殖関係の各種集計では、従来通り細字も太字も区別せずに集計していますのでご注意ください。検定立会時に妊娠報告を行うようお願いいたします。

3. 分娩予定日の諸注意

① **乳用種を交配させたとき(F1)**: 分娩予定日はホルスタインを交配させたことを前提に妊娠期間 280 日で計算しています。一般に肉用種を交配させたときは、2~3日妊娠期間が延長することが知られていますので、分娩予定日に加算して利用して下さい。

② **受精卵移植を行ったとき**: 牛群検定のルールでは、受精卵移植を行ったときの報告は直近発情日を報告することになっています。しかし、誤って移植日を報告されている場合があります。この場合、分娩予定日は1週間程度早く考えて下さい。

③ **事前に双胎妊娠(双子)であることが判明しているとき**: 双胎妊娠では、早産する例が多いことが知られています。事前に双胎妊娠が判明しているときは、その危険性に注意して下さい。

④ **ブラウンスイス種の場合**: 現在、ブラウンスイスを繋養する農家が少なからずあります。ブラウンスイス種の妊娠期間は 289 日程度ですので、分娩予定日に 9 日程度加算して下さい。

これらに関する問い合わせは岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475、担当・小園)まで。